

定期預金

一ヶ月 六分  
六ヶ月 五分五厘

當座預金

日歩 壹錢

小口當座預金

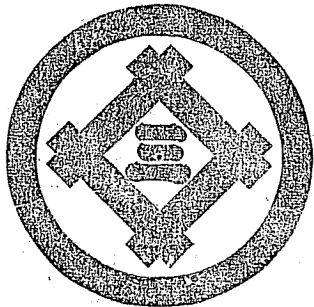
日歩 壹錢四厘

(二口五圓以上如何程の大額にても)

東京市日本橋區新右衛門町十六番地  
本店

電話本局 百廿九番  
支店 百三十番

東京市深川區佐賀町一丁目三十二番地  
深川出張所  
電話(浪花) 五百七十二番



# 合名三井銀行

當座勘定へ入金の當所拂手形及び小切手は當日より利息を附す  
當座貸越金は一たび引出さるゝも當日中に入金となれば別に利息を申受けず  
送金取組は其出合宜しからざる場合を除く外大抵無手数料にて取扱ふ

- 大阪支店 函館支店 和歌山支店 深川出張所
- 京都支店 廣島支店 四日市支店 松阪出張所
- 横濱支店 赤間關支店 長崎支店 横須賀出張所
- 神戸支店 津支店 小樽支店 三池出張所
- 名古屋支店 大津支店 足利支店

明治三十一年一月一日發行

第四卷 第一號

一月二十三日 二十九日 十六日

# 太 陽 論

## 論 說

### 同人種同盟附支那問題

#### 研究の必要

公 爵 近 衛 篤 麿

近時日本人は戦勝の餘威によりて、漸く驕慢の心を長じ、支那人を輕侮すること益々太甚しく、特に支那の各地に在る日本人は、恰も歐洲人の支那人に對する如き態度を以て、支那人を遇し、以爲らく日本は東洋に於ける唯一の文明國なり、支那の先進國なりと。夫れ文明の制度を布き、文明の教育を施したるに於ては、日

本實に支那の先進たり。故に支那を開導して、之れを扶植するに文明を以てするは、大に善し。獨り其先進國たるを以て、悻々自ら喜び、自ら負ひ、支那人を輕侮し、黷辱して、反つて其惡感を買ふは、實に先進國の標度に戻るのみならず、對清政略の運爲を妨ぐることを極めて大。其禍を後來に遺す、豈尠少ならむや。余を以て之れを觀れば、東洋の前途は、終に人種競争の舞臺たるを免かれど。たゞ一時の外交政略によりて如何なる變態を生ずることあるも、是れ唯だ一時の變態のみ。最後の運命は、黃白兩人種の競争にして、此競争の下には、支那人も、日本人も、共に白人種の仇敵として認めらるゝの位地に立たむ。悠遠の計を思ふものは、宜しく此間の消息を案せざる可からず。願ふに歐洲列國の最近政略は、主として異人種征服の

目的より打算するが如し。彼の亞弗利加經略と謂ひ、濠洲南洋の植民と謂ひ、南亞米利加開拓と謂ひ、皆以て異人種征服の機微を示すものたりざるは莫し。然れども歐洲列國の此等の未開地に於けるや、初めより優劣の懸隔太甚しく、之れを征服するの易き、猶ほ朽を拉ぎ、敗を打つが如く、幾ど無人の境を行くに同じくして、復た人種競争といふ可きは必の狀態を出現せず。此れを以て歐洲列國は、曾て力を土人の征服に勞せずして、列國互ひに征服の大小、占領の多少を争ひ、其結果として人種の競争よりも、寧ろ歐洲政略に原因せる列國自身の競争を見るに至る。是れ今日の現状なり。然りと雖も列國の黃人種に對するは、他の未開國に於けると、大に其趣を異にせり。彼等は一方に於て黃人種國を輕侮すると共に、一方に於ては猶ほ幾何の疑問を見て、俄かに黃人種の侮り難きを悟り、反つて大に之れを畏るゝの色あり。蓋し黃人種は物質的文明に於て、固より歐洲列國の後に墜ちたること遠し。此點に於て、今日の歐洲列國と競争するに足らざる無論なりと雖も、体力の強弱、能力の優劣に至ては、未だ容易に斷定す可からざるものなきに非ず。是れ歐洲人も亦屢々

之れを言ふものあればなり。故に列國は決して他の未開地を征服するの感想を以て、黃人種國に臨む能はず。人或は支那分割の機既に至れりと説くものあり。列國が支那分割に意あるや否やは、別箇の問題として此に之れを論せず。然れどもたとひ今日俄に支那分割の危機切迫せずとするも、其大勢は既に定まれるものとして、總べての黃人種國は、大に同人種保護の策を講せざる可からず。列國は他の未開地に於てこそ、人種競争の爲めに同盟するの必要なけれ。支那に對しては、未だ他の未開地に於けるが如き自由手腕を揮ふ能はず。他の未開地に向ては、列國各々單獨の力を以て容易に之れを征服し得ると雖も、若し何れの國にても獨力にて支那を征服せむと欲せば、恐らくは無人の境を行くが如く容易なるものに非ず。故に支那分割の現實となるの日は、是れ列國同盟の成立せる時なり。列國同盟して支那を分割する時は、即ち是れ黃白兩人種の競争と爲るの終局にして、此終局に於ける日本人の運命は、獨り人種競争の活劇以外に立つを得可き乎。余は日本人が漫に歐洲人と合奏して、支那亡國を歌ふの輕浮を歎するものなり。北京政府の興敗は、固より日本人の憂を感ず可きものに非ず、然れども支那人の情日に深きを加ふるが如し。余は某氏の言大に事實を誤らざるものなる可きを信ず。何となれば是れ必然の勢として、余の夙に豫期したる所なればなり。

民の存亡は、決して他人の休戚に非ずして、又日本人自身の利害に關するものたり。故に日本人は、平生支那人を待つに友情を以てし、之れを誘掖し、之れを開導して、其進歩を計り、其發達を促かすを念と爲し、以て勉めて其猜疑を去り、其媚嫉を除くの手段を講せざる可からず。斯くの如くなれば、支那人亦漸く我れに親しみ、我れに依頼するの心を生じ、以て人種保護の默契、兩國人民の間に成るを見む。頃ろ支那より歸朝する某氏、余に語て曰く、北京政府は依然頑冥不靈にして、尊大倨傲毫も往日と異らず。昔に戦敗に懲りて文武の制度を改革するの意なきのみならず、中國主義の舊夢尙は醒めずして、復た社稷の安危を顧みざるに似たり。然れども北京以外の有方者は、自國に禍を三國同盟の隱謀を悟りて、遼東還附の反つて自國に禍を三國同盟の隱謀を悟りて、遼東還附の少なからず。彼之要求に應ずるとするの傾向を憂ふるものも、機關新聞を發行して、此大に支那改革に銳意し、新た地方の人民は、特に三國の野心を畏れて、日本に親む

此故に日本人は此際宜しく其態度を慎しみ、善く支那問題の真相を研究して、百年の宏議を定むべく、決して妄りに自ら動て、列國の政略に陥り、以て容易に支那に對する向背を決す可からず。今日の要は先づ支那問題の研究するに在り。之れを研究せむとせば、其政治家有志家たるを問はず、宜しく支那に遊びて、其の上流社會に交際して兩國の感情を融和せしめ、或は其内地を探検して風俗人情を察し、以て支那人を知り、支那の國勢を知る是れなり。日本人は善く歐洲に遊びて歐洲の事情に通ずるもの少なからずと雖も、支那に遊びて支那の事情に通ずるものは甚だ少なし。夫れ善く支那を知らずして、支那問題を決せむとす。是れ甚だ危険なり、余は未來の爲に寒心せざらむと欲して得むや。

春 思

卷 菱 湖

鶯自嬌歌蝶自飛。醺酣未擬惜春歸。晴絲却慢多情緒。欲向長空繫落暉。